

平成31年度小規模特認校の

児童募集が始まります

小規模特認校制度とは、特色ある教育を推進している小規模な学校に通学し、心身の

成長、確かな学び、豊かな人間性を育みたいという保護者の希望がある場合に、一定の



プロを招いた本物体験(そば打ち:東別院小学校)



起業体験活動の取り組み(地域で商品を販売:西別院小学校)

条件のもと、校区外から通学することを認める制度です。

■学校説明会・見学会

・亀岡市立東別院小学校

随時見学を受け付けておりますので、希望される場合は事前にご東別院小学校まで連絡をお願いいたします。

・亀岡市立西別院小学校

平成30年10月13日(土)

午前9時30分受け付け(正午終了予定)。右記日程以外にも随時見学を受け付けておりますので事前にご西別院小学校まで連絡をお願いします。

そのほか自由見学日として、平成30年10月27日(土)やまびこフェスティバル(亀岡市立東別院小学校)、平成30年11月3日(土・祝日)西別院フェスティバル(亀岡市立

西別院小学校)があります。

■申請方法(共通)

・提出期間 平成30年10月15日(月)から12月14日(金)まで

・提出書類 小規模特認校転入学申請書、在籍学校の校長意見書(市内小学校に在籍している1年生から5年生の児童)

・提出先 就学を希望する小規模特認校まで

詳しくは、東別院小学校(☎27・2043)、西別院小学校(☎27・2201)までお問い合わせください。

小規模特認校についての詳細は、こちらにアクセスしてください



これからもお元気で

市内各地で敬老行事が開催

9月は、敬老月間です。17日の「敬老の日」を中心に、今年も市内各地で、長年にわたる社会の発展に貢献されてきた高齢者の皆さんに感謝し、

これからも元気に過ごしていただくとうと敬老行事が開催されました(一部は10月に開催)。

9月14日、亀岡地区東部の敬老会がガレリアかめおかで

開催され、参加された皆さんは、亀岡市を中心として活動する音楽ユニット「山の音楽家」によるコンサートやお楽しみ抽選会など、さまざまな催し物で楽しめました。今年で2回目の参加となった

岩元則子さん(76歳)は、「多くの人と交流もでき、楽しい催しにも元気をもらいました。これからも健康でいたい

です」と笑顔で話されました。

また、9月14日、桂川市長が市内最高齢者の大森敏子さん(106歳・大井町)が入所されている施設を訪問し、「いつまでも元気でいてください」とお祝いの言葉とともに記念品を贈呈。大森さんは「ありがとうございます」と話され、にっこりとほほ笑まれました。

また、9月14日、桂川市長が市内最高齢者の大森敏子さん(106歳・大井町)が入所されている施設を訪問し、「いつまでも元気でいてください」とお祝いの言葉とともに記念品を贈呈。大森さんは「ありがとうございます」と話され、にっこりとほほ笑まれました。



コンサートが催された亀岡地区東部の敬老会(9月14日)



多くの人が防災について認識を深めました

災害「その時」にあなたは

平成30年度防災講演会

「防災の日」である9月1日、災害について認識を深めることなどを目的に、ガレリアかめおかで防災講演会を開催しました。今回は、近い将来に発生が危惧されている「南海トラフ巨大地震」に対する備えを強化するため、「『地震』」をテーマに実施。市の消防団など防災関係者をはじめ約400人が参加しました。

第1部では、「緊急地震速報の活用方法」について京都地方気象台防災管理官の太田貴郎さんが講演。震源から近い

場所では、速報が強い揺れの到達に間に合わないことや、速報を聞いた時の対応の方法などを説明いただきました。

第2部は、京都大学防災研究所都市防災計画分野教授の牧紀男さんが「地域の災害対応力を高める方法」災害に

なやかに備えるために」と題して講演。避難所の円滑な運営のためには、役割分担や名簿の作成、避難所のルール作りなどが必要だと話されました。

相次ぐ大地震や豪雨、台風など時を選ばず私たちにふりかかる災害。防災対策として、周りに潜むリスクを知り、日頃から身を守るための行動を心掛けるようにしましょう。

相次ぐ大地震や豪雨、台風など時を選ばず私たちにふりかかる災害。防災対策として、周りに潜むリスクを知り、日頃から身を守るための行動を心掛けるようにしましょう。

やさしい健康講座

第128回

市民の皆さんの健康に関して、今回は市立病院の医師が、専門分野についてアドバイスをします。



亀岡市立病院 脊椎センター担当医 整形外科医長 成田 渉

亀岡市立病院に 脊椎センターを 設立いたしました

超高齢社会になり、加齢に伴う脊椎(くび・こし)のトラブルが急増しています。一方で、医療技術の進歩に伴い各分野で診断治療の専門性も高くなっています。当院では、

平成30年10月から新たなスタッフにより脊椎センターを立ち上げました。私は、XLIIF・OLIFといった手技によるMIS(最小侵襲脊椎安定術)を導入しており手術の技術開発や国内外での講演・技術指導も行っています。治療に当たっては、患者様の年齢や症状を考慮して、より安全安心な手術を選択しています。手足や腰のしびれ、痛みがある場合には、腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニア、頸椎症などが疑われる場合もありますので、日常生活でお悩みの人は一度ご相談ください。



市内最高齢者の大森さんに記念品を渡す桂川市長